

しゃめん
1面のコラム「**斜面**」を読もう

斜面

2024.6.6

関西で過ごした中学の時の修学旅行は長崎だった。山陽新幹線が全線開業して2年後の1977（昭和52）年。

それまでの東京方面から場所が変わった。新幹線で九州に入り、バスで原爆の爆心地に近い平和公園やグラバー邸を巡った◆今のようにはしっかりと事前学習することはなく、体験プログラムの機会もない。それでも、右手を天に向け、左手を水平に伸ばして犠牲者を悼む平和祈念像は、目にするだけで圧倒された。戦争や平和に関心が向くきっかけとして強く印象に残っている◆春からこの時季にかけて修学旅行は最盛期のような。長野駅や善光寺で、県外からの制服の団を見かける。本紙建設標にも、県内の中学生や高校生から広島や沖縄、京都で感じたことをつづった投書が相次ぐ。本やテレビでなく、実物に触れてゆさぶられた素直な思いが伝わる◆そんな修学旅行が今、物価高や滞在先の混雑といった問題に直面している。県内の公立中は時期の前倒しを検討。体験プログラムを中止する学校もあるという。先週土曜の本紙教育面で知った。県外では運転手不足でバスの手配ができない事例も起きた◆全校生参加が前提の修学旅行は日本独特の学校行事で、140年近くの歴史がある。戦前は軍隊を模した訓練の面があったが、現代では感性や探究心を育む機会となっている。国内外で災害が頻発し、紛争が絶えない世の中だ。将来に向け、若い力の糧となる修学旅行のあり方を探りたい。

斜面

2024.6.8

海洋生物学者のレイチエル・カーソンは1907年に米国内陸部で生まれ、22歳まで海を見たことがなかった。

少女時代、海を描く詩人が大好きで、海を舞台に物語を書くほど憧れた。大学院進学前の研修で念願の“出合い”を果たす◆その後、経済的な事情で研究を断念。政府機関に勤めながら海についての文章を発表した。2作目の本として「われらをめぐる海」を出す。誕生からの変遷をたどり、ダイナミックな仕組みや生命との関わりなど、尽きない海の魅力や不思議をつづった◆51年のことだ。生命や環境のつながりを見つめる目は、やがて人間が作る農薬や放射性物質に向かい、警鐘を鳴らす。10年後の再版にあたり、新たな序文をこう記した。「最初の生命を生みだした海が、自らがこの世に送りだした生物である人間の活動によって脅かされている」◆それから60年余りが過ぎた今、海はどうなっているか。廃棄物の投棄はなくなり、プラスチックが微細に砕け、大量に漂い続けている。温暖化で海水温度が上昇し、酸性化が進む。漁場から魚が姿を消しつつあるのは、海の生態系が崩れた証しだろう◆国際海洋法裁判所は先月、温室効果ガスの排出は「海洋汚染」と勧告的意見を出した。プラゴミとともに早く排出を止めないと、多くの生き物が危機的な状況に陥ってしまいうだ。国連が定めた世界海洋デーのきょう、思いを強くしたい。命を支える海を守るのは、私たちの責任である。

しゃめん
1面のコラム「斜面」を読もう

ひらがなを漢字になおして書きましょう。

斜面

2024. 6. 6

かんさいですごし
たちゅうがくのど
きのしゅうがくりよ
こうはながさきだっ

た。さんようしんかんせん
がぜんせんかいぎようして
2ねんごの1977（しよ
うわ52）ねん。それまでの
とうきようほうめんからば
しよがかわった。しんかん
せんできゅうしゅうにはい
り、バスでげんばくのばく
しんちにちかい平和公園や
グラバー邸をめぐった◆い
まのようにはっきりとじぜ
んがくしゅうすることとはな
く、たいけんプログラムの
きかいもない。それでも、
みぎてをてんにおけ、ひだ
りてをすいへいにのぼして
ぎせいしゃをいたむ平和祈
念像は、めにするだけであっ
とうされた。せんそうやへ
いわにかんしんがむくきつ
かけとしてつよくいんしよ
うにのこっている◆はるか
らこのじきにかけてしゅう
がくりよこうはさいせいき
のようだ。ながのえきやぜ
んこうじで、けんがいから
のせいふくのいちだんをみ
かける。本紙建設標にも、
けんないのちゅうがくせい
やこうこうせいからひろし
まやおきなわ、きょうとで

かんじたことをつづったと
うしよがあいつぐ。ほんや
テレビでなく、じつぶつに
ふれてゆさぶられたすなお
なおもいがつたわる◆そん
なしゅうがくりよこうがい
ま、ぶつかだかやたいぎい
さきのこんぎつとிட்டも
んだいにちよくめんしてい
る。けんないのこうりつちゅ
うはじきのまえだおしをけ
んと。たいけんプログラ
ムをちゅうしするがっこう
もあるという。せんしゅう
どようの本紙きょういくめ
んでした。けんがいでは
うんでんしゅぶそくでバス
のてはいができないじれい
もおきた◆ぜんこうせいさ
んかがぜんていのしゅうが
くりよこうはにほんどくと
くのがっこうぎょうじで、
140ねんちかくのれきし
がある。せんぜんはぐんた
いをもしたくんれんのめん
があつたが、げんだいでは
かんせいやたんきゅうしん
をはぐくむきかいとなって
いる。こくないがいでさい
がいがひんぱつし、ふんそ
うがたえないよのなかだ。
しようらいにおけ、わかい
ちからのかてとなるしゅう
がくりよこうのありかたを
さぐりたい。

太字や固有名詞などの漢字は原文のままです。

コラム「斜面」を読んで考えを深めよう

年 組 番 名前

斜面

2024.6.8

海洋生物学者のレイチ
エル・カーソンは19
07年に米国内陸部で
生まれ、22歳まで海を
見たことがなかった。

少女時代、海を描く詩人が大好きで、海を舞台に物語を書くほど憧れた。大学院進学前の研修で念願の“出会い”を果たす◆その後、経済的な事情で研究を断念。政府機関に勤めながら海についての文章を発表した。2作目の本として「われらをめぐる海」を出す。誕生からの変遷をたどり、ダイナミックな仕組みや生命との関わりなど、尽きない海の魅力や不思議をつづった◆51年のことだ。生命や環境のつながりを見つめる目は、やがて人間が作る農薬や放射性物質に向かい、警鐘を鳴らす。10年後の再版にあたり、新たな序文をこう記した。「最初の生命を生みだした海が、自らがこの世に送りだした生物である人間の活動によって脅かされている」◆それから60年余りが過ぎた今、海はどうなっているか。廃棄物の投棄はなくなり、プラスチックが微細に砕け、大量に漂い続けている。温暖化で海水温度が上昇し、酸性化が進む。漁場から魚が姿を消しつつあるのは、海の生態系が崩れた証しだろう◆国際海洋法裁判所は先月、温室効果ガスの排出は「海洋汚染」と勧告的意見を出した。プラゴミとともに早く排出を止めないと、多くの生き物が危機的な状況に陥ってしまいそうだ。国連が定めた世界海洋デーのきょう、思いを強くしたい。命を支える海を守るのは、私たちの責任である。

① コラム「斜面」を読んで、筆者が言いたいことを簡潔に書きましよう。

② 【意見提示】 「斜面」の内容に対するあなたの意見を書きましよう。

③ 【展開】 あなたの意見の根拠を三つ書きましよう。

()

()

()

伝えたい順番

コラム「^{しゃめん}斜面」を読んで考えを深めよう

解答例

年 組 名前

斜面

2024.6.8

海洋生物学者のレイチェル・カーソンは1907年に米国内陸部で生まれ、22歳まで海を見たことがなかった。

少女時代、海を描く詩人が大好きで、海を舞台に物語を書くほど憧れた。大学院進学前の研修で念願の「出会い」を果たす◆その後、経済的な事情で研究を断念。政府機関に勤めながら海についての文章を発表した。2作目の本として「われらをめぐる海」を出す。誕生からの変遷をたどり、ダイナミックな仕組みや生命との関わりなど、尽きない海の魅力や不思議をつづった◆51年のことだ。生命や環境のつながりを見つめる目は、やがて人間が作る農薬や放射性物質に向かい、警鐘を鳴らす。10年後の再版にあたり、新たな序文をこう記した。「最初の生命を生みだした海が、自らがこの世に送りだした生物である人間の活動によって脅かされている」◆それから60年余りが過ぎた今、海はどうなっているか。廃棄物の投棄はならず、プラスチックが微細に砕け、大量に漂い続けている。温暖化で海水温度が上昇し、酸性化が進む。漁場から魚が姿を消しつつあるのは、海の生態系が崩れた証しだろう◆国際海洋法裁判所は先月、温室効果ガスの排出は「海洋汚染」と勧告的意見を出した。プラごみとともに早く排出を止めないと、多くの生き物が危機的な状況に陥ってしまいそうだ。国連が定めた世界海洋デーのきょう、思いを強くしたい。命を支える海を守るのは、私たちの責任である。

①海洋生物学者のレイチェル・カーソンは、「われらをめぐる海」の再版にあたり、新たな序文を何と記しましたか。

【解答】最初の生命を生みだした海が、自らがこの世に送りだした生物である人間の活動によって脅かされている

②コラム「斜面」の筆者が「強くしたい」とする思いを、一文で抜き出しましょう。

【解答】命を支える海を守るのは、私たちの責任である。

③コラム「斜面」を読んで、あなたはどうか考えますか。200字程度で書きましょう。

Grid for writing answers to question 3.